

平成 28 年度 大項目評価及び全体評価(案)

	S	A	B	C	D
評価結果	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある。	年度計画を達成し、中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。	年度計画を実施し、中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる。	年度計画を実施したが、中期計画の実現のためにはやや遅れている。	年度計画を実施しているが、中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。
評価基準	すべての小項目が評価 3～5 かつ評価委員会が特に認める場合	すべての小項目が評価 3～5	評価 3～5 の小項目の割合がおおむね 9 割以上	評価 3～5 の小項目の割合がおおむね 9 割未満	評価委員会が特に認める場合

1. 大項目評価

1) 第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

i) 小項目評価(案)の集計結果

(法人自己評価と同じ評価とした場合で、

●印は前回会議で意見があった小項目、○印は前回会議で意見がなかった小項目)

		小項目評価(案)					重点ウエイト小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 市立病院として担うべき医療	(1) 救命救急センターを含む救急医療	●					◎
	(2) 小児医療・周産期医療			●			
	(3) 感染症医療			○			
	(4) 災害その他緊急時の医療		○				
	小 計	1	1	2			
2 高度専門医療の提供	(1) がんへの対応		●				◎
	(2) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応		○				
	(3) 高度専門医療の推進		○				
	小 計		3				
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供	(1) 医療安全対策の徹底		●				
	(2) 医療の質の向上		○				
	(3) 法令・行動規範の遵守(コンプライアンス)			○			
	(4) 患者の視点に立った医療の実践			○			
	(5) 患者サービスの向上		○				
	小 計		3	2			

		小項目評価（案）					重点ウエイト小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
4 地域への 貢献	(1) 地域の医療機関との連携推進		○				
	(2) 地域での医療従事者の育成	●					
	(3) 医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力		○				
	小 計	1	2				
合 計		2	9	4			
(構成比率)		100.0%					

ii) 判断理由等

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。特に、○○○○・・・の●項目は、様々な取組を評価し、年度計画を大幅に上回って実施している（評価5）と判断した。また年度計画を上回って実施している（評価4）と判断した小項目は、○○○○・・・の●項目である。

次に重点ウエイト小項目である1－(1)救命救急センターを含む救急医療については、「○○○○・・・」、2－(1) がんへの対応については、どちらも「○○○○・・・」の評価とした。

これらのことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 評価結果（案） **A 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる**

評価結果	S 特筆すべき進捗状況	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C 計画よりやや遅れている	D 大幅に遅れており重大な改善必要

2) 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

i) 小項目評価（案）の集計結果

（法人自己評価と同じ評価とした場合で、

●印は前回会議で意見があった小項目、○印は前回会議で意見がなかった小項目）

		小項目評価（案）					重点ウエイト小項目
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1 効率的・効果的な業務運営	(1) 自律性・機動性の高い組織づくり		○				
	(2) 質の高い経営		○				
	(3) 外部評価等の活用			○			
	小 計		2	1			
2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり	(1) 職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備		○				
	(2) 働きやすい職場環境の整備		○				
	小 計		2				
合 計			4	1			
(構成比率)		100.0%					

ii) 判断理由等

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施している（評価4）と判断した小項目は、○○○・・・の●項目である。これらのことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 評価結果（案） A 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき進捗状況	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C 計画よりやや遅れている	D 大幅に遅れており重大な改善必要

3) 第3 財務内容の改善に関する事項

i) 小項目評価（案）の集計結果

（法人自己評価と同じ評価とした場合で、

●印は前回会議で意見があった小項目、○印は前回会議で意見がなかった小項目）

	小項目評価（案）					重点ウエイト小項目
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1 安定した経営基盤の早期確立		●				◎
合 計		1				
（構成比率）	100.0%					

ii) 判断理由等

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施している（評価4）と判断した小項目は、○○○・・・の●項目である。

また、重点ウエイト小項目である1 安定した経営基盤の早期確立については、○○○○・・・ことから、「○○○○・・・」とした。

これらのことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 評価結果（案） A 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	計画よりやや遅れている	大幅に遅れており重大な改善必要

4) 第4 その他業務運営に関する重要事項

i) 小項目評価（案）の集計結果

（法人自己評価と同じ評価とした場合で、

●印は前回会議で意見があった小項目、○印は前回会議で意見がなかった小項目）

	小項目評価（案）					重点ウエイト小項目
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1 環境にやさしい病院運営			○			
合 計			1			
（構成比率）	100.0%					

ii) 判断理由等

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している状況という結果であった。

このことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 評価結果（案） A 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき進捗状況	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C 計画よりやや遅れている	D 大幅に遅れており重大な改善必要

2. 全体評価

i) 項目別評価（案）の結果一覧

大項目	評価項目数	小項目評価（案）数					大項目評価（案）
		5	4	3	2	1	
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	15	2	9	4			A
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	5		4	1			A
第3 財務内容の改善に関する事項	1		1				A
第4 その他業務運営に関する重要事項	1			1			A
合計	22	2	14	6			
(再掲) 重点小項目	3	1	2				

ii) 判断理由等

平成28年度の業務実績に関する評価については、第1から第4までの4つの大項目について、全て「評価A（中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる）」と判断した。

この大項目評価の結果に加え、平成28年度は、堺市二次医療圏における中核病院「堺市立総合医療センター」として初めて通年による事業運営を行い、特に

①堺市唯一の救命救急センターとして、堺市管内の重症度の高い患者を積極的に受け入れ、院内連携のもと、小児・周産期医療、脳卒中、急性心筋梗塞など、高度な救急医療にも対応し、市立病院として、市民の命を守る医療の提供や医療の質向上に取り組み、その役割を十分に果たしたこと。

②がん医療については、最新の医療機器や治療方法を導入し良質な医療の提供を行ったことをはじめ、がん相談の充実を図るとともに、行政や地域と連携した予防医療や緩和医療にも積極的に取り組み、地域がん診療連携拠点病院として、また堺市の中核病院として、堺市のがん医療の発展に大きく貢献したこと。

③患者にとってストレスとなる待ち時間を短縮するため、診察待ち時間表示システムや自動精算機に加え、携帯電話料金と一緒に支払いができる「スマート病院会計」を新たに導入するなど、患者に選ばれる病院づくりを進め、民間調査方法による満足度調査においても高い評価を残し患者満足度の向上に繋がったこと。

などから、平成28年度の業務実績は、「全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している」とした。

iii) 評価結果（案）

地方独立行政法人堺市立病院機構における平成 28 年度の全体評価の結果は、
『全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している』 である。

iv) 評価にあたって考慮した事項等

平成 28 年度は、新病院移転後初めて通年で事業運営を行い、引き続き前年度との比較が難しい中で、第 2 期中期計画と照らし合わせ、法人の取り組みを確認し、これからの病院運営にとって基礎となる実績及びその成果を明らかにすることで評価を進めた。

特に、救急医療については、堺市唯一の救命救急センター運営を行い、受け入れが難しい重症度が高い患者を積極的に受け入れた。二次・三次救急の一体運用により、救急搬送受入件数が 9,216 件にまで到達し、地域完結型救急医療に大きく貢献したと言える。それらの取り組みにより、市内の救命救急医制体制の維持、市民の安全・安心な生活を守る役割を果たしたことは高く評価できる。

がん医療では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた手術や最新の治療方法を導入し、化学療法調製件数、放射線治療延件数及び悪性腫瘍手術件数が、年度計画目標を大きく上回った。がん相談についても、相談しやすい環境づくりに努め、相談件数は前年度の 2 倍近くに増加した。地域がん診療連携拠点病院として、治療のみならず行政と連携した予防医療の推進に積極的に取り組み、また、緩和医療についても常勤の専門医を配置するなど、さらなる充実に努めた。死亡の最大原因であるがんについて、医療の質を向上させるとともに、がんを患っても安心して地域で暮らせる環境づくりやがん予防に寄与されたことは、非常に大きな功績である。

患者サービスの向上に関しては、診察待ち時間システムや自動精算機に加え、診療費を携帯電話料金と一緒に支払いができる「スマート病院会計」を導入し、患者が診療にあたってストレスとなる待ち時間の短縮を図った。引き続き、季節ごとの院内イベントも継続し、患者に選ばれる病院をめざした。

地域の医療機関との連携にあたっては、顔の見える関係を築くため、初めて登録医との交流を目的とした登録医総会を開催した。病院と診療所間の連携を強固なものとし、紹介率、逆紹介率が上昇した。

地域での医療従事者の育成については、初期研修医への研修内容が、大阪府に評価され、また、専門看護師及び認定看護師による出前でレクチャーを開始し、院内だけでなく、近隣の医療機関や介護施設を対象として、地域の人材育成にも努めている。

行政との連携については、堺市と協力し、性暴力救援センター大阪（SACHICO）の協力医療機関として、看護職員を性暴力被害者支援看護師（SANE）養成講座に参加させるなど支援体制の強化、充実に寄与した。

経営状況は、手術室や病床コントロールの徹底などにより、入院収益、外来収益を着実に増加させ、一定の収入を確保し、また、費用についても、細部まで削減に取り組み、収入に対する費用の割合も減少した。収入と費用のバランスは、前年度と比較すると大幅に回復しており、収支改善に向けて将来に期待のもてる状況となった。